

道を教えて

男
村娘

男 「ちよつと、そののキミ。」

村娘 「へっ、あたしですか？」

男 「ほかにだれがいるというのだ。」

村娘 「はあ、なんでしょうか・・・」

男 「ちよつと道をたずねたいのだが。」

クルム鉱山に行くには、どちらへ行けばいいかね？」

村娘 「クルム鉱山ですか？ あそこはいま閉鎖されていて・・・」

男 「そんなことは訊いていない。」

たどり着く道のりを教えてほしいだけだ。」

村娘 「えっ、でもとても危険で・・・」

男 「うるさい娘だ、だまって教えろ。」

それとも、いまこの場で氷漬けにしてやろうか？」

村娘 「ひゃうっ！？ おっ、教えます、教えます！」

男 「最初から素直にそう言えばいいのだよ。」

村娘 「えっと、この道をずっとまっすぐ行くと、おっきい牧場があ
って、その手前の分かれ道を山側に曲がって、ずっと歩いて
行ったらわかると思います・・・」

男 「ふむ、手間をかけたな。では、さらばだ。」

村娘 「（はあ、こわかった・・・）」